

お知らせ

記者発表資料

令和2年1月30日配布

■ 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

太田川水系河川整備計画の新たな目標について 学識者からご意見を頂きました

～第13回太田川河川整備懇談会 議事速報～

第13回太田川河川整備懇談会（令和2年1月29日）では、太田川のさらなる治水安全度向上を目指した新たな目標について説明を行い、ご意見をいただきました。

当日の議事速報については、別紙議事要旨を参照ください。

＜過去の河川整備懇談会資料： <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/plan2/index01.htm>＞

※太田川河川整備懇談会とは

太田川水系河川整備計画【国管理区間】について、河川法第16条の2にもとづき、河川に関し学識経験を有する者の意見を聴く場です

＜参考：第13回 太田川河川整備懇談会 開催日時＞

1. 日時：令和2年1月29日（水）15時00分～17時00分
2. 会場：ワークピア広島 2階 桜（広島市南区金屋町1-17）

＜問い合わせ先＞



国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所
副所長（改修） 阪木 浩二（さかき こうじ）
調査設計課長 入川 直之（いりかわ なおゆき）
TEL 082-222-9245（直通）

第13回太田川河川整備懇談会 議事要旨

- 平成30年7月豪雨、令和元年台風19号など、気候変動の影響による近年頻発化・激甚化する降雨状況を鑑み、太田川水系において事前防災対策の加速化が必要である。
- 太田川本川ならびに各支川の新たな整備目標は、気候変動を踏まえた流量および確率規模による多面的な検討が確認されており、妥当である。
- 支川の河川整備における河道掘削にあたっては、単断面水路にならない様、洪水時に河川水位に応じた生物の逃げ場に配慮が必要である。
- 次回提示する最適案においては、環境への影響及び流域への効果を十分検討するものとする。
- 雨水貯留施設等の流域対策も関係機関と連携して引き続き取り組む必要がある。
- ICT及び最新の技術を活用しつつ太田川全体の防災減災に寄与する取り組みが重要である。